

在宅支援に活かす摂食嚥下障害の理解



～歯科医師の視点と言語聴覚士の実践報告～

高齢者や障害者の「食べる力」を支えるためには、摂食嚥下機能を理解し、適切に対応することは重要です。今回は摂食嚥下の特に準備期・口腔期に焦点を当てた研修を開催します。

本研修では、歯科医師と言語聴覚士による講演を通じ、在宅支援に活かす摂食嚥下障害の理解を深めることを目的に開催します。あわせて、両者の連携の実際についても紹介し、現場での支援に役立てていただける内容としています。

12 / 11
(木)

ライブ配信 1) 13時30分～15時15分 (受付: 13時～)

アーカイブ配信 2) 17時30分～19時15分 (受付: 17時～)

1 または 2 のどちらか希望される方で申し込みください。

アーカイブ配信では、質疑応答には対応しておりません。ご了承ください。

開催方法: zoom を用いたオンライン開催

申込方法: 電子申請システムまたはメール (裏面参照)

対 象: 在宅系サービスに従事する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職等

参加費: 無料

講演

「“食べる”に必要な口腔機能の重要性と口腔機能低下への対応」

講師 一般社団法人京都府歯科医師会 地域保健部
大河歯科医院 院長 大河 貴久 先生

報告

「在宅での摂食嚥下リハビリテーションの実際と歯科連携の工夫
～言語聴覚士の実践報告～」

講師 結ノ歩訪問看護ステーション 主任 言語聴覚士
戸倉 晶子 先生

質疑応答

(申込時にご質問を記載いただけますが、すべての質問に対応できない場合があります。予めご了承ください。)



12 / 5
(金)

京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター

住所 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 465 (府立医大内)

電話 075-251-5399 URL <https://www.pref.kyoto.jp/rehabili/kensyu.html>

